

高く低コストです。

ICEMAN
アイスマン株式会社

〒839-0801 福岡県久留米市宮ノ陣3-6-23
TEL: 0942-27-6600 FAX: 0942-27-6603
http://www.iceman.co.jp

は、透明で硬い厚板状の水です。

熱として開発された大型機。

YBM 株式会社 **ワイビーエム**

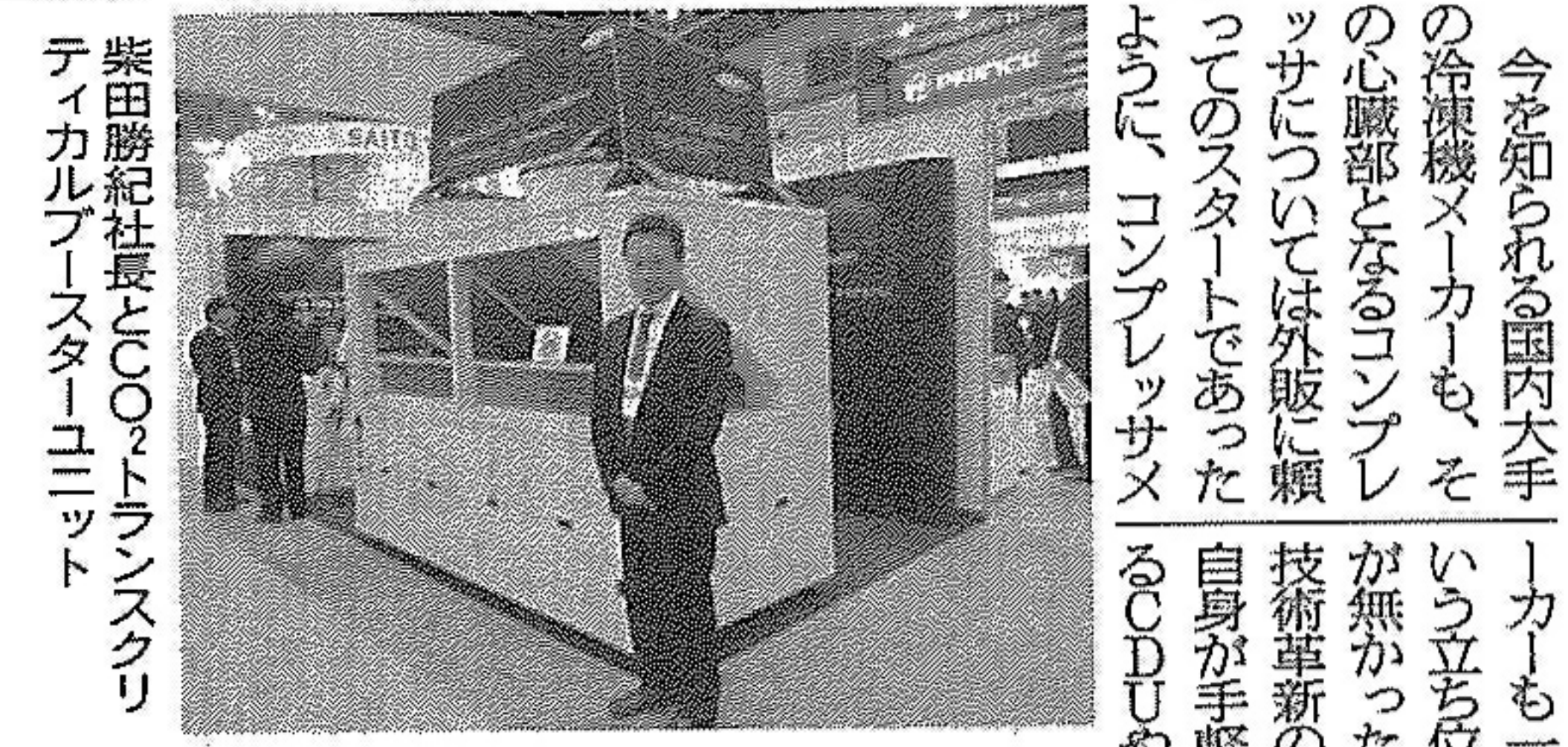
本社: 佐賀県唐津市原1534 TEL (0955) 77-1121
東京支社: 東京都中央区八丁堀3-22-11八重洲第3長岡ビル2F TEL (03) 6280-4789
◆営業拠点: 東京支店、大阪支店、東北営業所、名古屋営業所、インドネシア事務所
http://www.ybm.jp/

YBM Service 株式会社 **ワイビーエムサービス**

本社: 佐賀県唐津市原1297 TEL (0955) 77-6511
◆営業拠点: 福岡支店・八丁原事務所
http://www.ybms.jp/

総合アイスプラントメーカーへ

CO2ユニットの浸透でコラボも

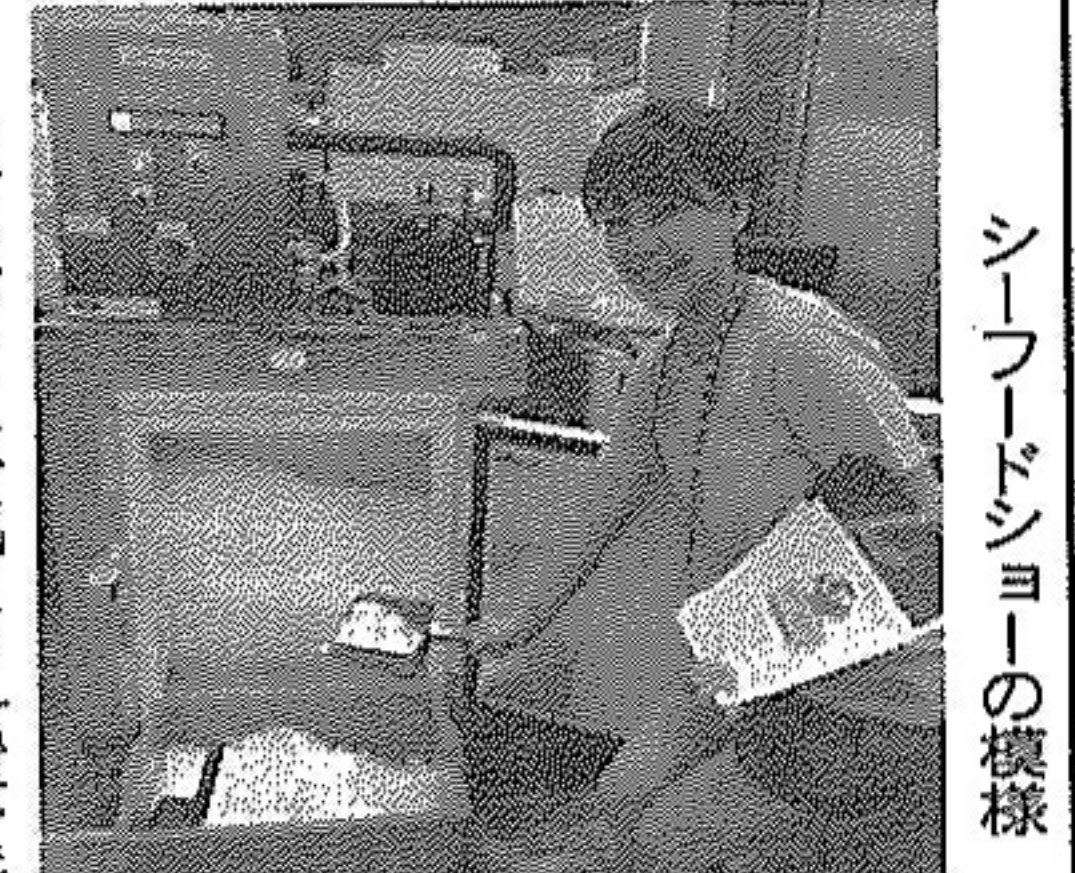


今告知される国内大手メーカーも一時は供給側という立ち位置を崩すことが無かったが、その後の技術革新の中でメーカー自身の手で売れ筋となったように、コンプレッサメ

「13-16」
その社名が示すことが多く、同社は時にはこうした大手メーカーの協力業者として、またはOEM、ODMといった供給側になることも、一方で自社製装置の開発メーカーとして様々な顔を見せる。

主なる市場は食品関連(加工工場など)、ロジスティクスセンター、水産関連と特定商圏における特殊ニーズに対するプロセスエンジニアリングとしての評価は高い。

社がイタリアの制御メーカー「CARREL社」と業務提携を果たし、九州の地へ「CARREL JAPAN」を設立させた。



制御ユニットの仕様

これに一気にCO2ユニットの製造販売を加速。「CO2トランスクリティカルプリアスターユニット」を開発した。コンプレッサなどの心臓部及び冷凍機は柴田熔接(加工工場など)に委託して展開を図ってきたクロバールメーカーの各種ニーズが組み込まれた仕上げとなった。

2年前に開催された業界の最大イベントであるHVAC&R2014において初号機を展示。その後はドイツの大手コンプレッサメーカー、ピツツァーとの協業も含め、完全なCO2ユニットへ進化させた。

制御システムは「CARREL JAPAN」を設立させた。

田勝社長は「総合アイスプラントメーカーを目指す」とする。現在、同社は海外パートナーであるGENEGLACE(ジュネグラス・仏)、EAGLE(独・仏)、MAJIMA(マヤ・独)やTURBO(ターボ・米)などの各種製品を取り入れながら国内市場においてユーザーのニーズに合わせたエンジニアリング事業を展開している。

今後、国内でのGEAGLUPの立ち位置などの変化もあるが、総じて同社としての事業領域に変わるはない。但し、自社での製水機開発なども志向のうちにあり、既存部分の各種メーカー製品を織り交ぜながら、柴田熔接工所が設計施工分野で培ってきた総合ノウハウをもって、プラントメーカーとしての立ち位置を開設した。

この8月に東京ビッグサイトで開催された第17回ジャパン・インターナショナル・シーフードショーにおいては、製水機と製水事業としての幅の広さをアピールした。

一方で来年2月に開催されるHVAC&R2016では柴田熔接工所として4コマ、CARREL JAPANとして2コマの計6コマで出展。CO2トランスクリティカルプリアスターユニットを中心に最新の動向を披露するとしている。

加えて同社は先頃、情報を入力を早めるべく東京支店(東京都品川区)を開設した。

合わせたシステムをメーカーとして持つのは国内でも同社のみ。吉田会長は自社の技術を農水産業に活用することで九州経済発展に貢献したいと意欲をみせる。

「和食がユネスコの無形文化遺産に登録され、TPPも合意に至った。日本の食文化と食文化に関心が集まっている。そして九州はアジアとの経済的つながりが強い地域である。今こそ九州は高付加価値化の農水産品をもって世界に打って出る時期(同)。

地中熱で九州農水産業の発展に貢献

環境制御で高品質を安定供給



吉田 哲雄 会長

野は国でも成長産業として期待を寄せている。九州に本社を置き地中熱利用システムを手掛けるワイビーエム(会長 吉田哲雄氏、本社 佐賀県唐津市原1534)は、自社の所有技術を九州の農水産分野に生かす取組を進中だ。

「これからの漁業は『養殖』あるいは『蓄養』の時代である。獲ってきた魚を蓄養し、安定して供給できれば漁場が荒れることなく、漁師の収入も安定し、消費者のメリットにもなる。重要なのは水温管理。一年中、魚が求める適温をつくる必要がある。通年で安定した熱を取り出せば既に福岡県の鐘崎漁港で導入されている。ここ

九州発「ビジネスモデル」技術を力に

地中熱が有効だ。陸上では獲れた魚を蓄養するための水槽に入れ、活魚として出荷している。水揚げ時に弱っていた魚も元気に高品質の魚を捉えることができるようになった。このシステムに欠かせないのは、熱を一定に保つ装置とともに、水中の溶存酸素濃度を高める装置だ。水中の酸素不足は魚にとってストレスとなり、また餌を食べる効率も低下する。ワイビーエムでは「サイエンス」の微細気泡を発生す

る装置をシステムに組み込み、水温と水の環境を制御することで、鐘崎漁港では蓄養を成功させている。

なお、地中熱と微細気泡発生装置との組み合わせは10年以上前同社の岸山工場で実証済みの技術。工場内の水槽でクルマエビやカサゴ、クエなどの養殖実験を行ってきた。クルマエビは福岡のホテルの中華料理店にトライアル出荷され、ここでは活クルマエビとして

千円程度で可能との試算が出され、運用コストも対流式と比べて約6割削減が可能と見込まれた。無風で静粛性が高いという特徴もバドミントン、卓球など風の影響を受けやすい室内競技に有利だった。

エコウィンパネル、エコウィンタワー、エコウィンオーナメントなどインフラの拡充と並行して昨年6月には「エコウィンハイブリッド」を発売した。一般のエアコンを熱源に利用し、輻射熱を組み合わせた世界初の空調システムで、

輻射熱の作用効果と冷凍サイクルの向上により、消費電力は最大34%の省エネ効果を実現するといえる。最近では沖縄県の歴史資料館に計51台を納入、今後は全国に認定設備代理店の拡充を進め、学校、保育園、介護老人保健施設、病院など公共施設への展開を目指す。

体感ショールームは全国20カ所。海外拠点には中国、遼寧省營口市と香港の2カ所があり、グローバル市場も視野に入れている。

「和食がユネスコの無形文化遺産に登録され、TPPも合意に至った。日本の食文化と食文化に関心が集まっている。そして九州はアジアとの経済的つながりが強い地域である。今こそ九州は高付加価値化の農水産品をもって世界に打って出る時期(同)。

エコファクトリー(社長 長川村喜宣氏、本社 熊本中央区)の輻射式冷暖房装置「エコウィン」が需要の広がりを見せている。市場に登場したのは2007年2月。その年の第4回エコプロダクツ大賞エコプロダクツ部門で国土交通大臣賞を受賞し、一躍注目を集めた。その後、第3回も09年7月、九州ニュービジネス大賞優秀賞(2010年6月)、第4回九州環境ビジネス大賞(2011年10月)など各賞受賞に輝き、存在を高める方針。

感を高めていった。さらに平成26年度省エネ大賞「省エネ事例部門」で宇土市、アール設備企画とともに審査委員会特別賞を受賞、開発力に高い評価を受けている。

エコウィン、発熱体素子である特許技術の「サイエンス」から放射される遠赤外線を利用して壁等に設置する放射パネルと人体やモノを暖める。最近では学校空調、ホテル、図書館などへの導入事例が相次ぎ、全国各地の室温の温度ムラが少なく、約2度C~5度Cの温度改善効果が得られる。省エネ性の高い空調方

需要広がる輻射式冷暖房装置 優れた省エネ 公共施設への導入強化

エコウィン、発熱体素子である特許技術の「サイエンス」から放射される遠赤外線を利用して壁等に設置する放射パネルと人体やモノを暖める。最近では学校空調、ホテル、図書館などへの導入事例が相次ぎ、全国各地の室温の温度ムラが少なく、約2度C~5度Cの温度改善効果が得られる。省エネ性の高い空調方

この事業は予算約5億円のうち、空調設備に3億円が見込まれたが、当初の空調システムで、

この事業は予算約5億円のうち、空調設備に3億円が見込まれたが、当初の空調システムで、

この事業は予算約5億円のうち、空調設備に3億円が見込まれたが、当初の空調システムで、

この事業は予算約5億円のうち、空調設備に3億円が見込まれたが、当初の空調システムで、

RITEHITE FANS **HVLS FANS 工場用大型天井ファン** **冷風除湿乾燥装置** **Tsubuku**

NEW

~HVLSファンは最適回転速度で